

2019 年市議選立候補者アンケート

前文省略

質問1: 従来はある程度余裕のあった所沢市の財政は、今後ますます厳しくなると予想されます。下記の項目にどのような対策が必要だとお考えですか？

(カッコ内に積極的な提案をご記入下さい)

歳入増加策として:

1) 現役世代/子育て世代の住民増加策

(女性フルタイム労働を前提とした子育て支援策の充実、また、都内に比較的近く、自然豊かな所沢市での子育て環境のPR策)

2) 雇用促進策

(KADOKAWA 関連産業の集積と三ヶ島工業団地拡張での企業誘致。更に、環境・エネルギー関連産業の誘致)

3) 低い納税率の向上策

(他の先進事例を常に情報収集し、それを取り入れ地道に対策を行っていく)

4) その他自由意見・提言

(所沢の豊かな自然、KADOKAWA 関連産業を融合して、また他市と賢く連携しながら、インバウンドを含めての『狭山丘陵・埼玉西部・多摩エリアの観光経済圏構想』への挑戦)

歳出削減策として

1) 人件費及び物件費の抑制策

(大胆な民間委託の推進、人工知能AIを賢く活用しての行政改革)

2) 公共施設マネジメントをどのように進めますか。

(各施設別の利用率の細かなデータを作成し、50年後の想定人口、人口構成、財政想定を基に、どのような公共施設を目指すのか？を11行政区ごとに、住民参加での基礎となる議論を行い意見を吸い上げ、そこから、市の方で、たたき台を作って議論を進めていく。方向性は施設の複合化政策。ボタンの掛け違いをしないように)

3) 学校の統廃合や公共転用について、どのように考えますか。

(一部地域での学校統廃合は将来的には、やむなし。将来の地域別の学齢人口の予想、現在の各学校の築年数などの要素を踏まえて、複合化を基本としながら検討を進める)

4) 福祉関係費が膨らんでいます。

① 見直すべき項目/節減すべき項目がありますか？

(生活保護費での【その他世帯】に対して、きめ細かな就労支援を行い、徐々に納税者になって頂く為の先進的対策の実施。釧路市その他の先進的事例を参考に)

② この分野で重点配慮すべきものは？

(介護予防対策に重点配慮すべき)

5) 広義の補助金(負担金・補助金・交付金)が多額になっています。

- ① 現状で廃止してもよい補助金がありませんか。
(補助金がなくとも、対象事業が実質的に見えるものは大胆に見直してもよいと考える)
- ② 逆に支給に値する活動で補助対象になっていない団体/活動があれば？
()

6) 行政監査のあり方について、どのように考えていますか。

(市役所のOBが監査委員に入ることについては再度議論の余地があると考え)

7) その他自由意見

(歳出削減の胆は定形型の業務をいかに外部へ委託拡大していくかである。また人工知能を賢く活用し、現在の人が行う業務をどう見直していくかである。そして、市役所職員を企画・政策立案の分野へ、できるだけシフトさせていくのが基本と考える)

質問2: 地域コミュニティと市民参加と少数者配慮などについて

1) 自治会の加入率が下がっています。地域コミュニティを促進するにはどういう政策が必要と考えますか。

(昔ながらのやり方は好まれない傾向になっていくので、上下関係に厳しくなく、どちらかと言うと、フラットな人間関係が形成できるような工夫が必要)

2) 市政と市議会への市民参加の必要性について、どう考えますか。

(市政に対しては、素案作りの段階から意見が言える仕組み作りが必要。議会に対しての市民参加は更に意見が言いやすい仕組みがあれば研究していきたい)

3) 所沢通信基地問題について、どう考えますか。

(工事残土を横田基地から持ってくる意味が不明で理解しがたい。基地の全面返還を望むのは当然であるが、国の安全保障政策と絡んでくるので、そこは見極めながら。また日米地位協定は日本の不利な状況を改善する為には変更が必要と考える)

4) 文化芸術振興ビジョンができました。文化的連携をどう進めていけばよいと考えますか。

(文化活動に関心が高い市民からの意見を聞いて進めていく)

5) いろいろな情報公開がなされています。どうすれば、市民に役立つとお考えですか。

(先進的な市民オンブズマンの活動に関する情報発信と共有を行い、市民自らが動けるような環境を作っていく)

6) 男女共同参画、障害者支援、LGBT 対応など少数者への配慮について、どう考えますか。

(基本的には、多様な社会が実現できるよう、時代に合った施策を展開していく)

7) その他の自由意見・提言

(一部は学校統廃合と矛盾しなくもないが、ひとつの方向として、地域コミュニティは、地域の小学校、中学校を取り巻く人間関係をベースとして形成していくことも重要と考える)

質問3: 地域の活性化・まちづくり及び環境問題について

(具体的提案があればご記入ください)

1) 高齢化した住民の足がありません。私鉄バスの減便など公共交通の空白地域の問題について、どう考えますか。

(所沢版のウーバーの導入。また並行して、自動運転技術の進化も取り入れながら、所沢市に合った仕組みを構築すべきと考える。30年スパンで考えれば、よりコンパクトシティーの実現に向かうべき)

2) 産業振興ビジョンができました。企業誘致について、どう進めますか。

(製造業に関しては、ひとつの売りが圏央道と関越道の活用をPR。また防衛医大、国立西埼玉病院など、医療・健康産業の集積が、やり方によっては可能。自分としては、環境未来都市の実現を目指しているのので、環境・自然エネルギー産業の誘致の一環として、所沢市として、積極的に新しい技術を市役所をあげて、実証実験できる環境作りについて、最大限協力することを含めてPRする)

3) 廃棄物の減量・リサイクルについて

(家庭ゴミ減量については、水分(水切り)をどうするかが大きなポイント。他市の先進事例を参考に、費用対効果の高い施策を集中的に展開していく)

4) 廃棄物処理コストの削減について

(上述の通り。また西部クリーンセンターが次の老朽化を迎えた時点で、東部クリーンセンターのみでのゴミ処理ができない場合は、近隣の入間市や狭山市と広域でのゴミ処理方法も選択肢となりうる)

5) 農業従事者が減少しています。生産緑地を含めた近郊農地のあり方について、どのようにお考えですか。

(もっと付加価値の高い作物への展開も視野に入れる。つまりは、オランダ型の農業への転換)

質問4: 高齢化問題、子育て問題について

1) 「住みよい街」を作るため、下記の項目にどのような政策が必要とお考えですか。

① 高齢者の問題について、

(高齢者のみの世帯に対する生活サポート・見守り／就労希望のシニア世代の短時間労働の場の確保⇒健康寿命と豊かな生活の両立／高齢者を狙う犯罪の防止／介護予防対策⇒基本的な生活圏での歩いて暮らせる環境作り)

② 子育ての問題について、

(女性が無理なくフルタイムでも働けるような子育て政策の充実⇒今後の状況によっては、『ステーション保育の運営(駅近くに仮の保育園拠点を置き、そこから特定の保育園へ、朝／夕1便のシャトルバス運行。★★谷口自身、越谷市在住時の19年前まで、約3年間利用しておりました)

③ 市と市民の協働について

(総合計画などの市の重要な施策に関しては、素案作りの段階から意見を収集する仕組み作りが必要)

2) また、他市に優れた事例がありましたら、当市の財政事情を踏まえて実効性のある提言をお願いします。

(和光市の介護予防政策／千葉県流山市の、基本、フルタイム共働き世帯に特化した、働く側に立った、きめ細かな子育て政策)

質問5:立候補した動機と、議員として実現したいこと

1)立候補した主な動機をお聞かせ下さい。

(地域社会である所沢市において、環境・電力などのエネルギー供給、財政、高齢者対策、子育て支援など、基本的な市民生活が持続できる都市を実現すること。また、これをひとつのモデルケースとして、全国に発信し、所沢市から、日本における、持続できる社会の実現に向けて、一歩でも近づいていく為に汗をかきたいと考えた為)

2)一番実現したい政策を3つ上げてください。

①(環境未来都市の実現。太陽光発電などで、自然エネルギー100%で暮らせるまちづくり⇒地球温暖化ストップを所沢から目指す！)

②(言うなれば、『カブトムシの森構想』:子ども達が市内の身近な雑木林、森に親しみながら育っていけるような、自然と共に生きていく感性を醸成できる環境づくり・環境教育の実践)

③(みどり豊かな、この所沢市の中で、人生を終える直前まで、自分の足で歩き、自分の口で物を食べられるような、健康寿命と平均寿命の『差ゼロ』が実現できるまちづくり)

以上

ご協力有り難うございました。

お名前をご記入願います。(谷口 まさのり)